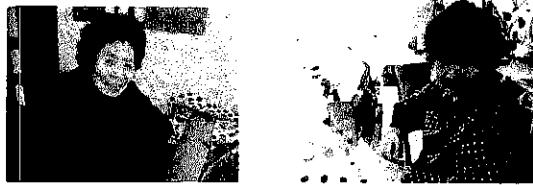


被災地のお母ちゃんたちに、手仕事を。

園児エプロン プロジェクト

第2弾、販売予約受付開始！



南三陸町歌津のお母ちゃん達が、園児用エプロンを縫っています。

津波で多くのものを失ったお母ちゃん達。震災前までやっていたミシンで何かを作り、自立したいと、強い意思と笑顔で頑張っておられます。

そこで、保育園などで使う園児用エプロンを縫って貰っています。



エプロンを使う園児たち（河北新報夕刊記事より）



縫製工場 場所：宮城県南三陸町 歌津泊浜地区

1セット（園児用エプロン2枚組） 1000円（税込み送料別）

◇ 申し込み方法：メールにて、件名に「園児用エプロン希望」と明記ください。本文に「希望セット数/送付先住所/氏名」を書いて、下記アドレスまでメールでお申し込みください。確認後、返信メールをお送りいたします。

enjiapron@gmail.com

申し込み締め切り日：2012年9月30日まで、受付。

◇今回の提案についてご支援のお願い◇

私は実家が石巻で、姪（小6年生）を3月11日の津波で亡くしました。実家も被災し、仙台にいながら何も出来ない自分に歯痒さを感じていた時、今回ご縁があってこのプロジェクトを発案いたしました。仙台市青葉保育園さまのご協力、そして、歌津地区の支援団体「tunagariプロジェクト」様を通じて、被災地のお母さん方の自立支援の一助として、このプロジェクトが実現いたしました。忙しい園児ママは助かるし、被災地のお母ちゃんたちの収入になる・・・双方が幸せになれる新しい支援のカタチとして、全国にその輪が広がっています。みなさま宜しくお願いいたします。

園児エプロンプロジェクト 代表 大坂 裕子。